

会 議 録 (要約)

様式第2号

| | | | |
|--------------------|--|--|---------------|
| 会議の名称 | 令和4年度第2回南アルプス市公共下水道事業審議会 | | |
| 開催日時 | 令和4年7月22日(金) 午後2時 ~ 午後3時40分 | | |
| 開催場所 | 南アルプス市上下水道局 2階 第1会議室 | 公開の可否 | ㊦ ・ 不可 ・ 一部不可 |
| 事務局 | 南アルプス市上下水道局 総務課 | 傍聴者数 | 0人 |
| 公開しなかった理由 | | | |
| 出席者 | 委員 | 澤登 義之、塩谷 一郎、志村 裕子、花輪 幸長、斉藤 諭、小林 敏徳 保坂 健、三枝 守和、山本 幸一、齋藤 古真夫、上野 久、五味 克明 深澤 昭仁、内田 秀子(順不同) | |
| | 事務局 | 米山上下水道局長、三柵総務課長、小池主幹、奥石副主幹 | |
| | その他 | | |
| 議題 | <p>講演</p> <p>テーマ 下水道事業経営の健全化について</p> <p>講師 北海道大学大学院 公共政策学研究センター研究員 遠藤 誠作 様</p> | | |
| 審議等の概要 (主な発言要旨) | 別紙のとおり | | |

令和4年度2回南アルプス市公共下水道事業審議会 議事録

日時：令和4年7月22日（金）午後2時

場所：南アルプス市上下水道局 2階第1会議室

○出席者

澤登 義之、塩谷 一郎、志村 裕子、花輪 幸長、斉藤 諭、小林 敏徳、保坂 健、三枝 守和、山本 幸一、齋藤 古真夫、上野 久、五味 克明、深澤 昭仁、内田 秀子（14名）

○欠席者

齋藤 康太郎、三木 充、斉藤 博明、久保田 直美

○事務局

米山上下水道局長、三柵総務課長、小池主幹、輿石副主幹

○傍聴者

なし

1. 開 会 . . . 総務課長の進行により開会
2. 会長あいさつ . . . 塩谷会長あいさつ 下水道事業審議会の役割と本日の研修会について
3. 講 演
テーマ 下水道事業経営の健全化について
講 師 北海道大学大学院 公共政策学研究センター研究員 遠藤 誠作 様

質 疑 応 答

○志村 裕子 副会長（南アルプス市女性団体連絡連合会会長）

- ・下水道事業は、ある程度人口密度があるほうが有効であるということが分かりましたが、市中心部など密集地域と、山付きなど過疎地域で対応を変えていくべきなのでしょうか。

○遠藤 誠作 講師

- ・考え方としては、目安としては国勢調査の人口集中地区であり、人口密度が44人以上である地区なら無条件で集合排水をした方がいいでしょう。段々人が減ってい

る地区は、耐用年数が来た時に、集合排水から浄化槽に切り替えるなどの方法があります。

- ・静岡県南伊豆市南伊豆町では、漁村地区の集合排水設備が耐用年数の35年となったので、2年間かけて浄化槽に入れかえました。多額の更新費用をかけられないため、計画的に入れ替えている市町村が出てきています。
- ・青森県野辺地町では、下水道の工事を始めましたが、これ以上工事費用をかけると、町がつぶれてしまうと判断し、途中でやめてしまいました。

○塩谷 一郎 会長（南アルプス市商工会専務理事）

- ・経費回収率について、国の方針としては最終的には100%が理想とみているのでしょうか。また、どのあたりが理想なのでしょう。

○遠藤 誠作 講師

- ・国の方針としては、あくまで100%が望ましいとしています。
- ・地方自治体は、600円でも、10,000円でも、好きに下水道料金を決めることができます。
- ・国は、経費回収率が50%でも20%でも何もありませんが、このままいったら困ることになると説明・指導はします。

○花輪 幸長 委員（産業土木常任委員会副委員長）

- ・資料P10にある二部使用料制を採用している事業者の比率はどれくらいでしょうか。

○遠藤 誠作 講師

- ・下水道事業は昔の簡易水道事業のような考え方をずっと続けており、一度制定したものを直しません。増えてきているとしても、大体1割ない位だと思います。

○事務局

- ・事務連絡になります。次回審議会の開催予定ですが、新型コロナ感染状況にもよりますが、概ね8月末頃を予定しております。改めて開催通知をお送りさせていただきますので、ご出席いただけますよう、よろしくお願いいたします。

4. 閉会の言葉 . . . 志村裕子副会長（南アルプス市農協代表理事専務）